



盛観！百人箱膳 みそフェスタ

長野市 善光寺大勸進

「つなぐ」をテーマに開かれた“みそフェスタ 2016 in 善光寺 ～すべては愛からはじまる～”。右の写真は企画の一つ、『飯だ！と聞いたら火事より急げ 家族と食す 100人箱膳』の様子。（2016年11月12日）

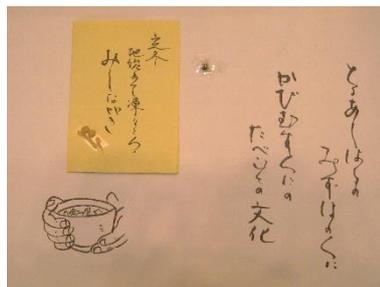


箱膳で知る食べごとの心

ご飯と具たくさん味噌汁に漬け物を添えた一汁三菜の和食。

箱膳は、小学生になるともらえた自分専用の“一人前の証”で、中に自分の食器が収まる。

お膳掛紙には、「豊葦原瑞穂の国 かび蒸す国の食べごとの文化」と、稲につくこうじ菌“稲魂”のおかげで味噌や漬け物などができ、日本の食が支えられてきたことを知りました。



みそを楽しんだ1日

会場では、だしワークショップやみそボールちゃんづくり、みそチョコベジ、パネルシアター、みそフェスタオリジナルみその試食など、みそを楽しむ企画が盛りだくさん。

みその深く温かい味わいと歴史文化、善光寺との関係などを学ぶ機会になりました。



←左は、食育劇団ええ〜こ第4回公園の一場面。戦国時代に武田信玄公が兵糧として味噌づくりを奨励した歴史などを交え、善光寺と味噌の深い関係が楽しく華麗に演じられました。

←右は、みそセッション。右から2人目が食べごとの心を伝えた長野県農村文化協会の池田玲子さん。